



令和7年度地域日本語教育講演会

地域社会とともにある 日本語教育のかたち

— 教室と地域をつなぐ方言の力 —

参加費
無料

令和7年
12/13 (土)

14時～16時 (開場 **13時**)

講演者

櫛引 祐希子 氏 [大阪教育大学 准教授]

会場

群馬県立女子大学 2号館 第1講義室

対象

日本語ボランティア活動をしている方、
一般県民、自治体職員、教員、大学生、高校生等

参加方法

要予約

※当日参加も可能ですが、準備の都合から事前予約をお願いいたします。

申込方法

大学ウェブサイトまたは二次元コードからフォームにアクセスし、
12月11日(木)までに参加登録を行ってください。



主催 ● 群馬県、群馬県立女子大学地域日本語教育センター

地域社会とともにある 日本語教育のかたち

－教室と地域をつなぐ方言の力－

講演者プロフィール

大阪教育大学 准教授 くしびき ゆき こ 櫛引 祐希子 氏

東北大学大学院修了。博士（文学）。大阪教育大学で地域社会の実態に応じて活躍できる日本語教員の養成に取り組んでいる。また、渡日間もない外国にルーツのある子どもを対象としたオンライン教材「アプリでにほんご」を産学連携の事業として開発した。同時に、方言研究者として、方言が地域社会の活性化や個人の自己実現に与える影響について研究を進めている。

講演概要

グローバル化の進展に伴い、日本語学習者の背景や学習目的は複雑化しています。これを受け、日本語教育の多様な在り方が求められていますが、日本語を学ぶ喜びが学習者のモチベーションとなることは一貫しています。

しかし、教室で学ぶ日本語と地域で見聞きする日本語（方言）に乖離があるのも事実です。日本語教育における方言学習は、1980年代から関心を集めてきましたが、その具体的な指針は定まっていません。

この講演では、日本語教育における方言学習の位置づけを振り返り、関西で行われている取り組みを紹介しながら、多文化共生が進む地域社会に必要となる方言の力について、参加者の皆様とともに考えたいと思います。

プログラム

14:00 ～	〔挨拶〕 群馬県立女子大学 学長（地域日本語教育センター長） 塩澤 寛樹
14:05 ～	〔講演〕 地域社会とともにある日本語教育のかたち －教室と地域をつなぐ方言の力－ 講師：大阪教育大学 准教授 櫛引 祐希子 氏
15:45 ～	質疑応答
16:00	閉会

司会●地域日本語教育センター 副センター長 新井小枝子



お問い合わせ

群馬県立女子大学事務局 連携推進係
〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

電話 ● 0270-65-8511（大学代表）
受付時間 ● 9:00～12:00、13:00～17:00
E-mail ● nihongo@mail.gpwu.ac.jp



大学ウェブサイト